

福井県	機関名	公益財団法人ふくい産業支援センター	
	部署名	デザイン振興部	
	電話連絡先	0778-21-3154	
事業名	福井デザインアカデミー開催事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
【目的】 消費者ニーズの多様化の中で、ブランディングは当該商品を差別化し商品力をアップする手法として重要度が増しており、一連の活動をマネジメントできる人材を養成するとともに、そのような人材が活躍できる企業風土作りに向け、企業経営者層の理解の促進を図る。 ■「ブランディング & 商品開発講座」の開催 内容 :現状分析・商品設計・視覚伝達の3部構成で、それぞれの専門家による講義(ワークショップを含む)を開催した。 講師 :鷹屋 信隆 氏(株式会社デザインアシスト) 平田 喜大 氏(エルゴデザインスタジオ/代表) 左合 ひとみ 氏(株式会社左合ひとみデザイン室/代表) 水野 美紀 氏(グラフィックデザイン晴れのひ./代表) 高山 友樹 氏(he/rbest/代表) 開催時期:令和4年9月2日～令和5年2月17日(全12回) 開催場所:サンドーム福井ものづくりキャンパスワークルーム、 一部 オンライン開催(ZOOM) 受講者 :15名(製造業・サービス業・飲食業 等) 受講料 :50,930円(税込) <参考URL> http://www.sankan.jp/fmc/			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成11年度	1683千円



福井県	機関名	公益財団法人ふくい産業支援センター	
	部署名	デザイン振興部	
	電話連絡先	0778-21-3154	
事業名	産業デザインプロデュース事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
【 目的 】 消費者ニーズの多様化の中で、商品や販促ツール等へのデザイン活用はもとより、市場ニーズの把握から商品企画、販売までのブランディングなど一連のマーケティング活動による商品の差別化、商品力のアップが重要である。そこで、一連の活動をマネジメントできる人材が不足している企業に対して、専門的な指導・助言ができる人材を派遣し、より多くの県内企業のブランディング等の活動を促進する。 【 事業内容 】 (1)デザイナー派遣(有料) 具体的な課題を有する企業に対して、課題に適合した県内専門家を派遣することで、企業ブランディング、商品や販促ツール等のデザインについて指導を行う。 ・実施回数 延べ 18 回 なお、専門家謝金の 1/2 を企業負担とする。 (2)グループカウンセリング(無料) 同一課題を持つ企業グループに対し、評価指導を行い、今後の方針策定を支援する。 ・1グループあたり 2 回 ・実施回数 延べ 7 回 <参考 URL > http://www.sankan.jp/fmc/			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成10年度	1859 千円



福井県	機関名	公益財団法人ふくい産業支援センター	
	部署名	デザイン振興部	
	電話連絡先	0778-21-3154	
事業名	デザインコネクト事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
【目的】 北陸新幹線開業に向けて、デザインの活用によって成長が期待される製造業・農林水産業・食品加工・医療・広報メディア等の企業向けにデザイン導入時の課題を解決し、「目立つ」商品・サービスの実現につなげていく。 【事業内容】 (1)デザインコネクトセミナー 経済、社会や情報環境等の劇的な変化によって私たちの価値観や暮らしが大きく変わりゆく時代。ものづくりやサービス、コミュニティにおいても次の時代を見据えた新たなデザインが求められている。デザインコネクトセミナーは、第一線で活躍する講師と共に新しい時代を切り拓くためのデザインのあり方を「つながりの再考」をキーワードに実施した。 対象者：伝統工芸、デザイン、眼鏡、食品加工、農林水産、観光、行政、サービス等 実施回数:4回(リアル開催1回、録画配信3回) ■講座1:全事業者向け(リアル開催:令和4年10月6日 於:河和田コミュニティセンター) テーマ:「中川政七商店と考える、工芸と産地の未来。」参加者:124名 講師:千石あや氏/(株)中川政七商店、内田徹氏/漆林堂、新山直広氏/TSUGI ■講座2:観光・農林水産・デザイン業界向け(録画配信:令和5年2月15日～) テーマ:「つながりデザイン」視聴回数:2 089回 ※ 講師:佐藤卓氏/グラフィックデザイナー、水野直人氏/黒龍酒造 ■講座3:伝統工芸・デザイン業界向け(録画配信:令和5年2月15日～) テーマ:「あつらえる工芸、あつらえるデザイン」視聴回数:155回 ※ 講師:鈴木啓太氏/プロダクトデザイナー、小柳範和氏/小柳筆筥 ■講座4:医療・デザイン業界向け(録画配信:令和5年2月15日～) テーマ:「デザインがつなぐ医療現場の未来」視聴回数:205回 ※ 講師:村田智明氏/プロダクトデザイナー、山本典子氏/Mededia ※ 令和5年3月10日時点 (2)展示販売会 ■つながりの再考展 開催時期:令和5年2月15日(水)～令和5年3月8日(水) 実施場所:福井ものづくりキャンパス 多目的ホール 入場者数:3 561名 内 容:セミナー動画とともにセミナー内で紹介されている商品や作品を実際に見られる展示販売会 <参考 URL > http://www.sankan.jp/fmc/			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
令和4年度で事業終了		令和2年度	2 900 千円



福井県	機関名	公益財団法人ふくい産業支援センター
	部署名	デザイン振興部
	電話連絡先	0778-21-3154
事業名	福井ものづくりキャンパス教室運営事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
【目的】 福井ものづくりキャンパスにおいて、ものづくり産業の振興や人材育成の拠点として活用するために、ものづくり企業関係者、職人、学生など幅広い層を対象にしたものづくりに役立つ講座・教室を開催するとともに、施設のPRを行う。 【事業内容】 ■MONO CAN ものづくりラジオ FM福井朝のワイド番組「Morning Tune」にて、伝統工芸やものづくりに関わる方をゲストに招いてのインタビューコーナー「ものづくりラジオ」を放送。さらに、収録の様子を撮影した動画を MONO CAN の YouTube チャンネルにアーカイブした。(全12回) ■工芸ワークショップ “伝統工芸×こどもピンチョス”(参加者 15 名) 日時: 令和4年8月6日(土) 午前の部 11:00~/午後の部 14:00~ 講師: Work in Daily Life 眞田樹世氏/家具デザイナー、インテリアデコレーター 龍泉刃物 代表取締役 増谷浩司氏 内容: 越前打刃物の本格的なこども用包丁を使ってピンチョスづくり。越前焼、越前漆器のお皿に盛り付け、形・断面・味の組み合わせなどを工夫しながら、盛り付けの楽しさを教示。 ■工芸ワークショップ キッズ探検隊 in RYOZO-柳瀬良三製紙所 (参加者 9 名) 日時: 令和4年9月3日(土) 午前の部 10:00~/午後の部 13:30~ 講師: 柳瀬良三製紙所/RYOZO 和紙 女将 3 代目 代表 柳瀬京子氏 内容:「金型落水紙」という伝統技法の見学と業務用越前和紙の紙漉体験、職人との交流など。 ■デザイン基礎コース「だれでもデザイン教室」 day 1 だれでもデザイン教室 for kids 「おばけをデザインしてみよう」(参加者:12 名) 日時: 令和4年10月22日(土) 13:30~16:00 講師: 福井県眼鏡協会/島村泰隆氏、neutral/山下さやか氏、GOOD MORNING/三田村敦氏、眞田悦子氏 内容: プロのデザイナーによるお話やワークショップから、デザインの考え方や楽しさ、面白さを教示した。 day 2 「コピー名作劇場」(参加者:14 名) 日時: 令和4年11月20日(日) 13:30~15:30 講師: オルグワークス/村中智宏氏、GOOD MORNIN/三田村敦氏、眞田悦子氏 内容:名作キャッチコピーを鑑賞し、コピーが生まれるまでのプロセスや、言葉とデザインの関わりについて教示した。 day 3 オンライン特別講座「デザインの裏側 突撃!隣のデザイン事務所」(参加者:36 名) 日時: 令和5年1月22日(日) 16:00~18:00 (Zoom によるオンライン開催) 講師: アーチザン&パートナーズ/景山直恵氏、Hyakka/丸山晴之氏、本を作る小さな本屋 HOSHIDO/佐藤実紀代氏 内容: デザインの現場をオンラインで繋いで、デザイナーの本音やデザインの裏話、地方で暮らしながらデザインの仕事をする面白さ、自由さを教示した。 ■常設展示「-6つの視点から読み解く伝統工芸- SIX BOX EXHIBITION」 (来場者数:12,300 名/概算) 日時:令和4年8月~令和5年1月(月替わりで展示) 会場:福井ものづくりキャンパス デザインラボ前 内容:伝統工芸の分野で活躍する方の作品などを6つの箱を用いて展示、丹南の伝統工芸の魅力を紹介。(丹南地域にある5産地) <参考 URL> http://www.sankan.jp/fmc/		
令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成28度	8 871 千円

福井県	機関名	福井県
	部署名	産業労働部 商業・市場開拓課 伝統工芸室
	電話連絡先	0778-21-3154
事業名	新幹線開業に向けた新たな F-TRAD 商品開発支援事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
【目的】 県内外のデザイナー等と連携し、コンセプトに合う製品の任干絵や新商品の開発支援を通じた「F-TRAD」ラインナップの充実および販売環境の整備を図ることにより、本件伝統工芸品の PR・需要拡大につなげる。 【事業内容】 (1)F-TRAD ブランド製品の認定 F-TRAD のコンセプト(現代の生活様式に合ったアップデート品)に合う既製品(デザイン等改良品を含む)を認定 (2)新幹線開業に向けた新商品の開発支援(7件) 手頃な価格帯(2～3千円程度)の土産品の開発など、県外デザイナーとの共同開発を伴走支援 対象者 :伝統工芸品製造事業者 対象経費:原材料費、消耗品費、外注加工費、委託費 等 補助率 :2/3(500千円) ※開発した商品は F-TRAD ブランド製品として認定・販売 (3)ECサイト等を活用したPR・販売拡大 ・雑誌等メディアでの特集記事の掲載 ・専用のEC販売サイトの整備 (動画による製品の特徴紹介やコーディネート提案など) ・県内外における F-TRAD 商品取扱店舗の拡大 <参考 URL> https://f-trad.com/		
		
令和5年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		令和4年度
		予算額
		16 187 千円



大阪府	機関名	大阪府			
	部署名	商工労働部 中小企業支援室			
	電話連絡先	06-6210-9491			
事業名	大阪府産業デザインセンター事業「デザイン総合相談」(D-チャレンジ)				
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)					
【事業の趣旨】 中小企業のデザイン経営やデザイン活用的高度化に向けて、総合的なデザイン相談・指導体制を整備し、ブランディングや商品開発のイノベーションを支援する。 【実施方法】 ○相談形態：来訪、出張、オンラインミーティング等による個別面談 ○支援方法： ・デザイン専門員が丁寧にヒアリングし課題解決に向けたアドバイスをを行い、相談内容によっては最適な分野のデザイナーを紹介し、デザインによる解決策を講じる。 ・必要に応じて、知財、技術、経営などの各種支援機関とも連携して課題解決へと導く。 ・各地域の商工会・商工会議所や金融機関等と「出かけるデザイン相談会」を実施し、個別支援を行う。 【主なアドバイス内容と実績数】 ①課題の整理を行い、新規事業の取組み方やブランディングのアドバイス、また商品開発の方向性に関するアドバイスなど。 ②プロダクトデザインのアドバイス、デザイナーへの依頼ポイント・契約方法や条件などをアドバイス。 ③パッケージやロゴマークなど商品訴求力を高めるデザインの考え方や、デザイナーへの依頼ポイント・契約方法等アドバイス。 ④商品や企業を訴求するWEBなどのプロモーションツールの依頼ポイント・条件などをアドバイス。 ⑤「ホームページ無料診断」を令和2年度より開始。事業者のサイトが検索結果に最適化しているか評価し、評価シートを提供。					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談事業社数		125 社	187 社	139 社	122 社
うちホームページ診断			110 社	50 社	31 社
令和5年度実施予定				開始年度	予算額
公益財団法人大阪産業局に事業移管して継続予定				昭和 62 年度	—

大阪府	機関名	大阪府
	部署名	商工労働部 中小企業支援室
	電話連絡先	06-6210-9491
事業名	大阪府産業デザインセンター事業「大阪府デザイン・オープン・カレッジ」	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
【概要】 中小企業及びデザイン事務所等を対象に、デザイン分野の先端知識や技術、最新動向に関するワークショップやフォーラムを開催することにより、ビジネスにデザインを活用できる人材、および社会のニーズに合わせた新たなビジネスの創出に対応できる人材の育成をめざす事業。 なお、令和4年度は、コロナウイルス感染症の拡大防止対策を踏まえ、3密対策としてフォーラムのみ開催し、ワークショップは中止とした。 ■フォーラム 日時:令和4年 11月 16日(水) 14:00～16:00 テーマ:チームの魅力と才能を引き出す「問いかけの作法」 講師:株式会社 MIMIGURI 代表取締役 Co-CEO、東京大学大学院 情報学環 特任助教 安斎 勇樹 氏 同志社女子大学名誉教授、大阪工業大学客員教授、ネオミュージアム館長 上田 信行 氏 内容:「問いかけの作法:チームの魅力と才能を引き出す技術」の著者、株式会社 MIMIGURI の安斎勇樹氏と「プレイフルシンキング[決定版]:働く人と場を楽しくする思考法」の著者、同志社女子大学名誉教授の上田信行氏のお二人が、開発の現場で日々孤軍奮闘するプロジェクトリーダーや、部下とのコミュニケーションギャップに悩む中小企業経営者などを対象に、チームメンバーや社員のモチベーションを上げ、組織全体のポテンシャルを高める方法について講演を行った。 受講料:3 000 円(税込み) 受講者数: 85 名 <参考 URL> https://www.pref.osaka.lg.jp/mono/oidc/college2022.html		
令和5年度実施予定		開始年度
公益財団法人大阪産業局に事業移管して継続予定		昭和 62 年度
		予算額
		—

大阪府	機関名	大阪府
	部署名	商工労働部 中小企業支援室
	電話連絡先	06-6210-9491
事業名	大阪府産業デザインセンター事業「デザイン研究指導」	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
1.BMB 勉強会の開催		
【事業の趣旨】 中小企業の情報発信とビジネスマッチングを支援するサイト「ビジネスマッチングブログ(BMB)」を核として、(地独)大阪産業技術研究所との共催により「ORIST 技術セミナー・BMB 勉強会(セミナー)」を開催。ものづくり中小企業等に社会的なトレンド情報や新技術、Web テクノロジー等を紹介する。		
【実施内容】		
① ORIST & BMB 第 50 回勉強会「API×ワンソースマルチデバイス HeadlessCMS」15:00-17:00リアル & オンライン開催 参加者 10 名(7/12) 報告動画(YouTube)2本作成		
② ORIST & BMB 第 51 回勉強会「公設試で始めるロボット・AI・IoT」～奈良・和歌山・大阪の研究機関による自動化・省力化と人材育成～ 15:00-17:00リアル & オンライン開催 参加者 15 名(2/14) 報告動画(YouTube)1本作成		
③ ORIST & BMB 第 52 回勉強会「今なら間に合う！GA4 の導入と活用術」～GA4 の使い方をわかりやすく解説～ 15:00-17:00リアル & オンライン開催 参加者 61 名(3/10) 報告動画(YouTube)2本作成		
<参考 URL >		
① https://bmb.oidc.jp/article.php?story=ORISTBMBoff50		
② https://bmb.oidc.jp/article.php?story=ORISTBMBoff51		
③ https://bmb.oidc.jp/article.php?story=ORISTBMBoff52		
2.こども OS 研究成果の普及		
【事業の趣旨】 キッズデザイン協議会「こども OS 研究会」の研究活動から生まれた、アイデア／デザイン発想ツール「こども OS ランゲージ」の産業界等への普及促進と開発支援。		
【実施内容】 「キッズデザインアカデミーアイデアソン」をオンラインで開催(8/24)。参加 5 名 主催:キッズデザイン協議会 対象:大学生・専門学校生等 内容:こども OS 発想手法の解説と演習		
<参考 URL >		
https://pds.oidc.jp/article.php?story=20221201105250374		
令和5年度実施予定		開始年度
公益財団法人大阪産業局に事業移管して継続予定		昭和 62 年度
		予算額
		—

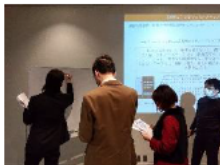
大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター	
	部署名		
	電話連絡先	06-6265-2260	
事業名	デザイン経営相談事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
(事業趣旨) 中小企業のデザイン導入・活用に関するあらゆる相談や情報提供、さらには要望に応じたデザイン事務所の紹介や個別カウンセリングを行うなど、中小企業とデザイナーとのビジネスマッチングに努めた。新型コロナの影響を受けながらも、新規に加えてリピートの企業やデザイナーの来館が大幅に増え、相談や紹介依頼件数、個別面談数も前年度よりも増加した。成約率は前年並みの45%であった。 今年度は、単に企業とデザイナーのマッチングにとどまらず、デザイン経営の支援の要望もありワークショップ事業も実施した。今後デザイン経営コンサルティングを実施していく足がかりとなった。			
(事業内容) デザイナー、デザイン事務所紹介 74 件 デザイン経営支援 1 件			
			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成2年度	800 千円

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター	
	部署名		
	電話連絡先	06-6265-2260	
事業名	「いのちと元気のために、デザイン」プロジェクト 経済産業省ものづくり補助金(ビジネスモデル構築型)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
(事業趣旨) ユーザーエクスペリエンス(UX)とデジタルトランスフォーメーション(DX)を活用した、マーケットに通用する医療機器・ヘルスケアのビジネスモデルを構築するため、経済産業省ものづくり補助金(ビジネスモデル構築型)を利用し、30 社・団体による価値創造マップ、ビジネスモデルキャンパスを経て、短期事業計画の作成を行った。			
(事業内容)			
令和4年度			
実施時期 令和3年9月1日～令和4年4月26日			
プレセミナー1回、オリエンテーション1回、座学5回、ワークショップ8回、補講5回、個別指導のべ47回、成果発表会1回			
座学はPM1時から5時まで、講義+WSは講義がAM10:30～12:00、WSは13:30～17:00			
実施場所 ZOOM、大阪デザインセンター、ナレッジキャピタルほか			
参加者 ものづくり企業、起業家、IT 会社、デザイン事業所など 30 社・団体、			
参加費 1社10万円 (税抜)			
コーディネーター:デザイナー奥田充一氏、			
メンター:医療専門家(妙中義之氏、小柳智義氏など			
臨床工学士(西垣孝行氏)			
医工連携コーディネーター(上村英一氏)			
デザイナー(村田智明氏、羽場一郎氏)			
マーケッター(石本和治氏、上野祐子氏、更田誠氏など)			
内容	①医療機器開発に際しての前提知識習得、医工連携、医療業界参入のガイダンス、医療知見を介護、健康分野に拡張する場合の留意点など		
	②ビジネスモデル作成のためのメソッドのワークショップ		
	③最終的にビジネスモデルの構築＝事業計画の策定		
補助金	経済産業省 ものづくり補助金ビジネスモデル構築型採択。		
<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> https://www.osakadc.jp/exchange-meeting/13219/			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
令和4年度で事業終了		令和3年度	1000 千円



大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター		
	部署名			
	電話連絡先	06-6265-2260		
事業名	商品パッケージ企画実習講座			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
(事業趣旨) 企業の商品企画・販売促進担当者を対象に、商品パッケージづくりに関する基礎知識から効果的に展開できる企画手法、デザインに取り組む留意点などをレクチャーやケーススタディ解説に加え、ワークショップを開催した。				
(事業内容)				
テーマ	どう売るかではなく、どう買っていたか			
場 所	大阪デザインセンター			
第1回	2022年10月25日(火) 15:00~18:10 講師 三河内英樹 坂元雄二			
第2回	2022年11月1日(火) 15:00~18:10 講師 大木千津子 森 孝幹			
第3回	2022年11月8日(火) 15:00~18:10 講師 三原美奈子 松尾政明			
<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> https://www.osakadc.jp/seminar-event/12406/				
				
				
令和5年度実施予定		開始年度	予算額	
継続して実施予定		平成28年度	660 千円	



大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター		
	部署名			
	電話連絡先	06-6265-2260		
事業名	デザイナー向け・企業向け・経営者向け各種講座			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
(事業趣旨) 価値を生む人材を育てる目的で、大阪デザインセンターのリソースを活用し、企業向け、デザイナー向け、経営者・後継ぎ向けのスキルアップ講座・ワークショップを開催した。 (事業内容) ●企業向け講座 「小学国語」を学び直すだけで“ラク”に書けて、仕事がかどる文章講座 フォトグラファーが教えるスマホで手軽に「伝える」「伝わる」商品撮影講座 プロがやっている売上 120%アップ「自社 EC サイト」改善講座(入門編) 新規事業を成功に導くエフェクチュエーション～今ある手段・人間関係から～ ●デザイナー向け講座 「デザインの力」で経営を支援する～経営デザインシートを活用したデザインコンサルティングとは～ 選ばれ続けるデザイナーが大切にしている基本スキル～ビジネスパートナーとしてのデザイナーへ～ 信頼されるデザイナーが身につけているマーケティングスキル～ビジネスパートナーとしてのデザイナーへ～ なんとなく「キレイ」な写真からの脱却！フォトタッチと広告写真の制作ルールを学ぶ実践講座 ●経営者・後継ぎのためのデザイン経営講座 「感性の見える化」で売れるデザインの法則を導き出す 独自の魅力を磨き、強い商品・サービスへつなげるブランド戦略～ブランディング基礎講座～ 商品の魅力や価値を伝え、選ばれるブランドへ				
				
< 事業に関する情報が掲載されているサイト URL > https://www.osakadc.jp/event_category/seminar/				
令和5年度実施予定		開始年度		予算額
継続して実施予定		令和4年度		5 000 千円

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター		
	部署名			
	電話連絡先	06-6265-2260		
事業名	サロン交流事業「SEMBA サロンの開催」			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
(事業趣旨)デザイン関係者、ものづくり企業等幅広い方々が気楽に集まって交流をはかり、情報発信できる場をもつため、不定期で金曜日の夜に開放して、デザイントークと交流の場である「SEMBA サロン」を開催している。 令和2年度から令和3年度上期にかけては新型コロナウイルスの影響でリアル開催が困難な時期もあったが、令和3年度下期から再開しており、令和4年度も継続開催している。 (事業内容) 第122回「民藝から学ぶ～デザインと美意識について」高橋 健三 氏 第123回「技術を活かして新しい市場とつなぐファクトリーブランドのつくり方 ～和晒ブランド開発ストーリー～」小松 祐介 氏 第124回「人生で必要なことは全て Instagram から学んだ - インフルエンサーが世界を席巻する時代へ -」清水 篤司 氏 第125回「ここだけの話！実践商品開発。絶対のキラーコンテンツ教えます！」杉田 祥市郎 氏 第126回「中小企業における DX のはじめ方 ～ゼロから進める DX(デジタルトランスフォーメーション)～」小嶋 崇嗣 氏 第127回「フェムテックって何なん？コスメ企画からの視点」西山 太 氏 第128回「ポストコロナの大阪・関西万博、IR カジノへ向けた水運事業のヴィジョン」山本 浩司 氏 第129回「BtoB メーカーの商品デザインから見る顧客の信頼を獲得するブランド構築法」川畑 大助 氏 第130回「テーブル天板工場が挑戦する コロナ禍での新たなビジネスチャレンジ ～除菌+抗菌+コーティング～」西島 敦史 氏(中止) 第131回「環境と人にやさしい サーキュラーエコノミーの実現へ」南村 紀史 氏 第132回「経営者のもしも！の備え ～生きるため、活かすための終活を始めましょう～」(中止) 第133回「想いを“最適なカタチ”にする圧空・真空成形技術」藤原大輔 氏 第134回「地域とロケの結び方 ～朝ドラと受入環境づくり～」吉田 重登志 氏 <事業に関する情報が掲載されているサイト URL> https://www.osakadc.jp/seminar-event/				
令和5年度実施予定		開始年度	予算額	
継続して実施予定		平成26年度	200千円	



大阪府	機関名	堺市	
	部署名	産業振興局産業戦略部地域産業課	
	電話連絡先	072-228-7534	
事業名	伝統産業ブランド創出促進事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
1 事業概要 堺の伝統産品とその魅力を引き立てる逸品を「sakai kitchen〈堺キッチン〉」として認定し、認定商品を首都圏等でのPR・販売やSNSでの情報発信など、堺の伝統産業の魅力を伝える商品として発信。 2 主な内容 (1)伝統工芸品等に精通している審査員からの応募商品のフィードバック (2)販売機会の提供 ・オンラインストア「REAL JAPAN STORE」の特設ページで販売(令和5年2月1日～3月6日) ・代官山 蔦屋書店での展示・販売(令和5年2月20日～3月6日) ・堺伝匠館オンラインショップでの販売(令和5年3月1日～) ・堺伝匠館での展示販売(令和5年4月1日～) (3)各種情報発信支援 ・sakai kitchen〈堺キッチン〉ブランドロゴマークの使用 ・sakai kitchen〈堺キッチン〉のリーフレットへの掲載、広報誌への掲載 ・公式ホームページへの商品掲載、インフルエンサーによる情報発信、プレスリリース配信サービスを利用した情報発信 <参考 URL> sakai kitchen〈堺キッチン〉公式ホームページ https://www.sakai-kitchen.jp/			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和3年度	8 000 千円



大阪府	機関名	堺市
	部署名	産業振興局産業戦略部地域産業課
	電話連絡先	072-228-7534
事業名	伝統産業若手異業種交流会	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

1 事業概要

近畿経済産業局、(公財)堺市産業振興センターと共催で、伝統産業の未来を担う異業種の若手が交流し、異なる業界の横のつながりを作り刺激し合うことにより、それぞれの業界が自主的に新しい取組を生み出すきっかけを作るなど、本市の伝統産業界の活性化をめざす事業。

2 セミナー内容

(1)第3回若手異業種交流会(令和4年7月19日)

・講演 「地場産業の新しいカタチの実現とその取組について」

講師 山口 典宏 氏(有限会社山口陶器 代表取締役)

・ワークショップ

ファシリテーター 三嶋 貴若 氏(有限会社セメントプロデュースデザイン 取締役)

(2)第4回若手異業種交流会(令和4年12月7日)

・講演 「こんにやく屋4代目の挑戦 ～苦悩と人との交流～」

講師 中尾 友彦 氏(中尾食品工業株式会社 代表取締役社長)

・「参加者同士の交流 ～みんなで自己紹介～」

ファシリテーター 三嶋 貴若 氏(有限会社セメントプロデュースデザイン 取締役)

<参考 URL>

伝統産業若手異業種交流会

<https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/dentosangyo/exchange-meeting.html>

第3回

堺市伝統産業若手異業種交流会

◆他業界と連携したい ◆他業界のことを聞いてみたい
◆新しい取組をしたい ◆伝統産業を盛り上げたい

日時 2022年 7月19日 火 13:30-16:30
場所: 堺市産業振興センター4階 セミナー室4 堺市北区長崎根町183-5

第1部 講演 「地場産業の新しいカタチの実現とその取組について」
講師 山口 典宏 氏 (有限会社山口陶器 代表取締役)
13:30-14:30

第2部 ワークショップ (他-他業界の交流と取組を促すための取組について)
ファシリテーター 三嶋 貴若 氏 (有限会社セメントプロデュースデザイン 取締役)
14:45-16:15

お問い合わせ 堺市 地域振興課 振興係 TEL:072-228-7534
堺市産業振興センター 総務交流課 TEL:072-255-1253
主催: 堺市・堺市産業振興センター・近畿経済産業局

第4回

堺市伝統産業若手異業種交流会

◆他業界と連携したい ◆他業界のことを聞いてみたい
◆新しい取組をしたい ◆伝統産業を盛り上げたい

日時 2022年 12月7日 水 13:30-16:30
場所: 堺市産業振興センター4階 セミナー室4 堺市北区長崎根町183-5
対象: ①伝統産業事業者 ②堺市の伝統産業事業者との交流を促す事業者
申込方法: 「参加申込票」をFAXまたはメールにて送付

第1部 講演 「こんにやく屋4代目の挑戦 ～苦悩と人との交流～」
講師 中尾 友彦 氏 (中尾食品工業株式会社 代表取締役社長)
13:30-14:30

第2部 「参加者同士の交流 ～みんなで自己紹介～」
日時(自席)の順番で自己紹介を実施。参加メンバーで縦横の交流を促すための取組を行います！
ファシリテーター 三嶋 貴若 氏 (有限会社セメントプロデュースデザイン 取締役)
14:45-16:15

事業紹介 (近畿経済産業局)
交流会

お問い合わせ 堺市 地域振興課 振興係 TEL:072-228-7534
堺市産業振興センター 総務交流課 TEL:072-255-1253
主催: 堺市・堺市産業振興センター・近畿経済産業局

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和3年度	0千円

大阪府	機関名	八尾市
	部署名	魅力創造部産業政策課
	電話連絡先	072-924-3845
事業名	デザインイノベーション推進事業「yaokonton」	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

<基本コンセプト>

「yaokonton(ヤオコントン)」は、「つくれないモノは、無い」を合言葉に、八尾市内企業の商品開発事業を支援するプログラムです。領域に囚われないプロフェッショナル&未来のクリエイターとのコラボレーションにより、八尾市内産業全体のブランド力を高めていくことを目的とする。

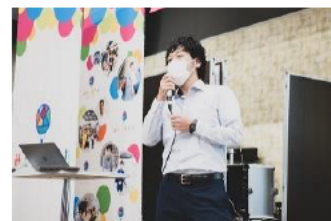
<メンター陣>

プロダクトデザイナーや、コミュニケーションプランナー、ファッションデザイナーから、おもちゃクリエイターまで、ポータレスなプロフェッショナルが集う。



<キックオフ>

採択企業の自己紹介ピッチを行い、本事業の意気込みまた、メンター陣によるトークセッションを行い、三者三様の視点からプロダクト開発のポイントを紹介また、採択企業をデザイナーが訪問し企業がもつ技リサーチ&インプットをおこなった
実施日:8月22、23日 参加人数:参加企業11社及び



<リサーチ&アイディエーション>

インプット後、主にメンター & 京都芸術大学メンバー側から、企業側にアイデアを提案。採択企業とともにプレストをすすめ、アイデアを固めていった。MTGは、zoom等を活用し、主にオンラインペースで実施。共創でアイデアをブラッシュアップしていった。

<各種セミナー(対象:主に採択企業11社)>

アイデア講義:商品企画とPRに関するワークショップ形式の講義イベントを実施。9月2日
広告講義:企画・デザインにおける伝え方・考え方の型をベースとしたセッションを開催。10月13日
中間報告会:採択企業のアイデアを八尾市立サポートセンターメンバー、メンター、外部企業担当からアドバイス機会。11月29日
DXセミナー:広報・販売戦略にもとづくDX推進イベントを実施。12月20日

<各展示イベント>

スタート時には想像もできなかったプロダクト/試作品が誕生し、多様な場所で展示会を実施した
京都芸術大学:期間2023年2月18日~2月26日
(最終日は、脳科学者茂木健一郎氏を招いた講評イベントを実施)
engawaKYOTO:期間2月27日~3月8日
中之島図書館:期間3月2日~3月30日



<成果発表会>

採択企業、メンターなどの関係者、および、八尾市内事業者などが参加した。
採択企業からは、今後の展望などが語られ、開発したプロダクトを展示し、来場者に直接触れていただく機会を設けた。
実施日:3月20日
場所:みせるばやお
参加人数:24名
アイテム数:14

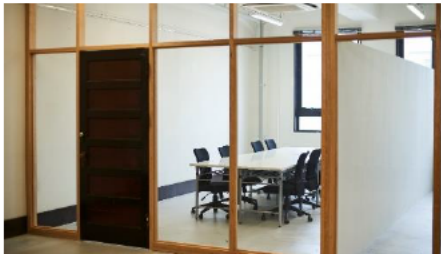


参考 URL:<https://yaokonton.jp/>

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	平成27年度	15,296千円

兵庫県	機関名	神戸市	
	部署名	企画調整局産学連携推進課	
	電話連絡先	078-322-6573	
事業名	「デザイン都市・神戸」の推進 BE KOBE 発信事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
「BE KOBE」は、阪神淡路大震災から 20 年目となる平成 26 年度に、大震災の経験と成果の発信と継承等を目的に展開された「震災 20 年継承と発信事業」の一環である「震災 20 年神戸からのメッセージ発信」プロジェクトをきっかけに、多くの市民から出た「神戸の様々な魅力の中で、一番の魅力は人である」という思いを集約したメッセージのロゴとして生まれた。 「BE KOBE」を、神戸市民であることを誇りに思う気持ち、シビックプライドの「メッセージ」として広く発信し、多くの方々が神戸のまちに愛着と誇りを持つ「シビックプライドの醸成」へと繋げていく。 ■事業概要 「BE KOBE」というメッセージは、「BEKOBE モニュメント」の存在もあり、多くの市民に浸透してきている。引き続きこれを広げていく発信と活用を推進していく。 ○「BE KOBE」を活用したシビックプライドの醸成 平成 27 年度より庁内外での BEKOBE ロゴの使用を承認制とし、民間においても広くロゴの使用を認めることで、理念の浸透を促進している。 ○「BE KOBE」モニュメントの設置 メッセージの浸透のため、「BE KOBE」モニュメントをメリケンパーク(平成 29 年度)、ボーアイしおさい公園(平成 31 年度)、神出山田自転車道(令和 2 年度)、神戸フルーツフラワーパーク、に設置。神戸の魅力的な観光名所にもなっている ○その他発信事業 ピンパッチ等のグッズ作成、ウェブサイトの運営等を通して BE KOBE を広く発信。			
			
メリケンパーク「BE KOBE」モニュメント			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成26年度	320 千円

兵庫県	機関名	神戸市	
	部署名	企画調整局産学連携推進課	
	電話連絡先	078-322-6570	
事業名	「デザイン都市・神戸」の推進 デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)の管理運営・活用		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
デザイン・クリエイティブセンター神戸(愛称:KIITO=キイト)は、「創造と交流の拠点」として、旧神戸生糸検査所を改修し平成 24 年 8 月に開設。「デザイン都市・神戸」を推進するため、幅広い世代への多様な企画事業を展開。また KIITO ホールやギャラリーなどの貸館事業や、クリエイティブな活動を行う企業等が入居するクリエイティブラボの運営を行っている。 令和 3 年 9 月、KIITO3 階に「KIITO:300(キイトサンマルマル)」をオープン。こどもの創造的学びと社会貢献活動のプラットフォームとして常設拠点を開設した。 市民の創造性を育むイベント、ワークショップ、さまざまなプロジェクトを通じて、クリエイティブな人材の交流と集積を行っている。			
■施設概要			
施行年:旧館 1927 年(昭和 2 年)、新館 1932 年(昭和 7 年)			
敷地面積:8 601 m ²			
延床面積:旧館 3 489 m ² 、新館 10 290 m ²			
レンタルスペース:ホール、ギャラリー、会議室など			
クリエイティブラボ:39 室			
■指定管理者:デザイン・クリエイティブセンター神戸運営共同事業体			
■おもな実施事業			
・KOB E デザインの日記念イベント、+クリエイティブゼミ、オープン KIITO2022、KIITO マルシェ ほか			
■参考 URL https://kiito.jp/			
			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成24年度	134 732 千円

兵庫県	機関名	神戸市
	部署名	企画調整局産学連携推進課
	電話連絡先	078-322-6570
事業名	「デザイン都市・神戸」の推進 「KIITO:300」プラットフォーム事業推進	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
こどもからシニアまで、誰もがもっとクリエイティブに。クリエイティブの芽を育て、育む交流拠点「KIITO:300」が、デザイン・クリエイティブセンター神戸(愛称:KIITO=キイト)に令和3年9月オープン。KIITO:300(キイトサンマルマル)は、子どもからシニア、社会人、クリエイターまで、誰もが集まり、つながることのできる場を目指した、あらゆる世代へ開けたプラットフォーム。 このプラットフォーム「KIITO:300」には、こどもたちの好奇心と探究心を刺激し、創造性を育むプラットフォーム「KIITO:300 キャンプ」と、だれもが社会貢献に取り組み、交流できる協働と参画のプラットフォーム「KIITO:300 ファーム」の2つの機能がある。 ■事業概要 ○「KIITO:300 キャンプ」 クリエイターとともに考えた、子どもたちを対象としたデザインやアートのワークショップやイベントを週末に開催。また、子どもの教育に関わる人々を対象としたレクチャーなども開催し、大人と子どもが共にこの場所で楽しく学べるプログラムを実施。 活動概要 ・こどもたちの主体的な学びや探究心を育む創造教育プログラムの開発・提供 ・開発、提供するプログラムの効果検証の実施 ・こどもの教育に携わる教員や学生などを対象とした人材育成プログラムの実施とコミュニティづくりなど ・家庭、公教育、地域でのプログラムの実施 など ○「KIITO:300 ファーム」 大学、企業、NPOなどを対象としたプラットフォーム。社会貢献活動の支援や相談を行う窓口業務、一般の方にも参加いただけるトークイベントやレクチャーなどを実施。活動を通して、社会との関わりと人々のつながりを広げる。 活動概要 ・活動中のまちの担い手に対する支援(相談対応、研修実施、プロジェクトの紹介、プロジェクトの開発技術の指導) ・新しい担い手の発掘、育成、支援(大学生、社会人、シニアをターゲットにした人材育成、活躍の場の提供) ・学生プロジェクトの立ち上げ・運営 ・社会人やシニア等幅広い世代が参加できるプロボノ事業・社会貢献活動に関わる団体・個人・行政がつながり交流する拠点の運営 ・SDGsをテーマとした地域共創イベント など		
  ワークショップエリア		
  セミナーエリア		
令和5年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		令和3年度
		予算額
		指定管理事業費の中で執行

兵庫県	機関名	神戸市
	部署名	企画調整局産学連携推進課
	電話連絡先	078-322-6573
事業名	「デザイン都市・神戸」の推進 「デザイン都市・神戸」の発信、ユネスコ創造都市ネットワーク連携事業の推進	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
■事業概要 「デザイン都市・神戸」を推進する神戸市は、2008 年にユネスコ創造都市ネットワーク「デザイン分野」に認定。 他の創造都市やデザインに関わる団体・学校との連携企画等を行い、市民がデザインを身近に感じることのできる機会を創出している。また、その活動内容を国内・海外に向け発信している。		
■活動実績 ○ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市との連携・市民へのデザインの浸透 ・「グッドデザイン神戸 2022」トークイベント:六甲アイランド高校の美術デザインコース 2 年生を対象に、(公財)日本デザイン振興会のスタッフが 2022 年度グッドデザイン受賞作についての講義を実施(令和 5 年 2 月) ・サントス(ブラジル)での年次総会(令和 4 年 7 月)、カウナス(リトアニア)、ジーロング(オーストラリア)、デトロイト(米国)でのデザイン分野サブネットワーク会議へのオンライン参加(令和 4 年 10 月、令和 5 年 3 月) ・浜松市で実施された「UCCN 国内都市会議」にオンライン出席(令和 4 年 9 月) ・「旭川デザインウィーク」に神戸市職員が出席、名古屋・旭川・神戸の「ユネスコデザイン都市・国内3都市セッション 2022」を実施。(令和 4 年 6 月) ○ユネスコ「デザイン都市・神戸」のロゴマーク使用促進(令和 4 年度申請件数:19 件) ○「デザイン都市・神戸」の発信:「デザイン都市・神戸」ホームページ、年次報告書での情報発信(年間)		
＜年次報告書＞		
  ＜「デザイン都市・神戸」ロゴマーク＞ 		
令和5年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		平成 20 年度
		予算額
		3 540 千円

兵庫県	機関名	神戸市									
	部署名	経済観光局新産業創造課									
	電話連絡先	078-984-0334									
事業名	イノベーション創出プログラム「プロジェクト・エングローブ」										
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)											
■概要 自治体が主催するプログラムとしては初めて、「ESG※」の観点を取り入れ、市内中小企業と全国から集まった多様な経験とスキルを持つクリエイティブ人材がチームとなり、持続可能な新規事業を生み出すイノベーション創出プログラムです。 ※環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance) ■参加企業数 5社 ■プログラム内容 (1)ワークショップ(全7回) 各回テーマを設定し、第一線で活躍するメンターの伴走のもとで、新製品や新サービスを生み出すことを目的とした伴走事業を実施。 (2)成果発表・事業展開支援 ワークショップを通じて生まれた事業アイデアの具体像を発表し、そのアイデアの実現を支える外部人材との継続的な関係構築につなげる。  地球にいいビジネスを、神戸から。  (新しい事業領域の開拓に チャレンジしてみたい 神戸市内企業) × (神戸市内企業とともに 新しい事業を生み出したい クリエイティブ・パートナー) < 参考 URL > https://englobe-kobe.com/ <tr><td colspan="2">令和5年度実施予定</td><td>開始年度</td><td>予算額</td></tr><tr><td colspan="2">継続して実施予定</td><td>令和3年度</td><td>28 000 千円</td></tr>				令和5年度実施予定		開始年度	予算額	継続して実施予定		令和3年度	28 000 千円
令和5年度実施予定		開始年度	予算額								
継続して実施予定		令和3年度	28 000 千円								

兵庫県	機関名	神戸市						
	部署名	経済観光局新産業創造課						
	電話連絡先	078-984-0334						
事業名	市内中小企業×課題解決プログラム「ミライ経営塾 Wonders (ワンダース)」							
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)								
■概要 市内中小企業を対象に、「デザイン経営※」の視点から事業開発・課題解決を実践するプログラムです。「ブランドデザイン」「組織デザイン」「プロダクトデザイン」の各分野で活躍するメンター3名による伴走型のプログラムを実施し、企業の事業成長の加速を図ります。 ※デザイン経営とは デザインの力をブランドの構築やイノベーションの創出に活用する経営手法です。その本質は、人(ユーザー)を中心に考えることで、根本的な課題を発見し、これまでの発想にとらわれない、それでいて実現可能な解決策を、柔軟に反復・改善を繰り返しながら生み出すことです。(経産省・特許庁「デザイン経営宣言」2018 より) ■参加企業数 12 社 ■メンター 「ブランドデザイン」 星加 ルノコ氏(写真左) 「組織デザイン」 岩野 翼氏(写真中) 「プロダクトデザイン」小林 新也氏(写真右) ■プログラム内容 ・基本講座(全4回) プロダクトデザイン、ブランドデザイン、組織デザイン、知的財産の4つのテーマに分け、デザイン経営の考え方を座学とワークショップで学びます。 ・伴走支援講座(全6回) 参加した 12 社が「ブランドデザイン」「組織デザイン」「プロダクトデザイン」の各グループに分かれ、それぞれのメンターとともに事業開発・課題解決を目指します。 ・事例とアイデア共有会 各メンター指導のもと、参加企業の課題認識と、そこから生まれる事業成長戦略案について発表し、他の参加企業と共有します。 ・最終報告会 各企業がプログラムを通じて学んできたことや、目標に向けた取り組み状況について発表します。 <参考 URL>https://www.kobe-np.co.jp/info/wonders/ ブランディング  社内用ブランドガイドを制定。ガイドラインにそってPOPや装飾をすることで売り上げ向上を目指す。 株式会社 イスズベーカリー 組織デザイン 「ほめる」文化の形成  チャレンジ精神が停滞気味な部門へ、価値観の統一とフィードバックの仕組みを提案し推進している 株式会社 小泉ビジネスソリューション プロダクトデザイン  自社の技術を生かし、機械金属工業会の仲間たちと各々の技術の強みを組み合わせ、新商品の試作品を共同制作。 株式会社 神戸精工 <table><tr><td>令和5年度実施予定</td><td>開始年度</td><td>予算額</td></tr><tr><td>継続して実施予定</td><td>令和3年度</td><td>10 000 千円</td></tr></table>			令和5年度実施予定	開始年度	予算額	継続して実施予定	令和3年度	10 000 千円
令和5年度実施予定	開始年度	予算額						
継続して実施予定	令和3年度	10 000 千円						

兵庫県	機関名	神戸市
	部署名	経済観光局新産業創造課
	電話連絡先	078-984-0334
事業名	「Kobe Creators Note(神戸クリエイターズノート)」	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
■概要 神戸市内で活躍しているクリエイティブ人材と市内企業とが つながる場を提供し、新たなビジネスを生み出す基盤として、 WEB サイト「Kobe Creators Note」を運用しています。 ■登録クリエイター数 約 200 名 ■主なコンテンツ ・神戸で活躍するクリエイターを紹介【クリエイターを探す】 ・神戸で活躍するクリエイターの仕事を記事で紹介【インタビュー】 ・神戸市内企業とクリエイターの共創事例を記事で紹介【コラボ事例】 ・市内公募情報などのクリエイティブ案件情報を掲載【案件情報】 ・神戸市や登録クリエイターのイベント情報を掲載【イベント情報】 ・企業向けのクリエイティブ案件の相談窓口及び案件コーディネート <参考 URL> https://kobecreatorsnote.com/		
令和5年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		令和元年度
		予算額
		2 850 千円



兵庫県	機関名	神戸市	
	部署名	経済観光局新産業創造課	
	電話連絡先	078-984-0334	
事業名	株式会社マクアケとの事業連携		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
■概要 令和3年9月に、神戸市と株式会社マクアケは「中小企業のイノベーション創出・販路拡大支援に関する事業連携協定」を締結し、ICTによるマーケティング・広報という観点から中小企業のイノベーション創出・販路拡大支援を促進します。 ■Makuake 活用セミナー・個別相談会 Makuake の仕組みと効果的な活用方法についてセミナーを実施。 マクアケ担当者による個別相談会もあわせて開催。 日時:令和4年 10 月 12 日(水) 13:00~16:00 場所: ANCHOR KOBE ※オンライン同時開催 (神戸市中央区加納町 4-2-1 神戸三宮阪急ビル 15 階) 参加企業数:10 社  ＜神戸市×Makuake 特集ページ URL＞ https://www.makuake.com/partner/kobecity ■クリエイター活用による中小企業等のイノベーション創出・販路拡大支援等促進補助金 市内中小企業等がクリエイター等に発注する「Makuake」プロジェクトページ制作にかかる費用の一部を補助。 補助金額:上限 20 万円 補助率:補助対象経費の2分の1 詳細 URL:https://www.city.kobe.lg.jp/a14333/business/innovation_makuake.html			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和3年度	2 500 千円

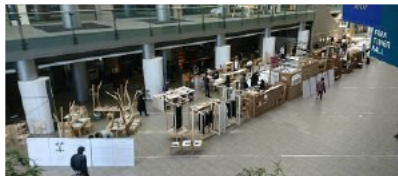


KOBE  ×  Makuake
UNESCO City of Design

<神戸市×Makuake 特集ページ URL>

<https://www.makuake.com/partner/kobecity>

奈良県	機関名	奈良県	
	部署名	産業・観光・雇用振興部 地域産業課	
	電話連絡先	0742-27-8804	
事業名	小規模地場産業振興補助事業「デザイン開発事業」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<事業内容> ・伝統に培われた技術力を活かす独創性の高い商品づくりの支援策として、専門のデザイナーが小規模地場産業(毛皮革・履物・スポーツ用品)の商品開発に参画し、デザイン開発を指導・支援することで商品力の強化を図り、業界の活性化を行った。 <事業実施主体(補助先)> 奈良県毛皮革協同組合連合会、奈良県履物協同組合連合会、奈良県スポーツ用品協同組合連合会 <講師>(協)ジャパンデザインプロデューサーズユニオン会員デザイナー等 ※下記補助予算額は、毛皮革・履物・スポーツ用品各連合会等への補助総額であり、販路開拓等、他の事業への補助も含む。			
デザイン開発事業実施フロー			
【1 テーマ設定】 ・新商品のデザイン ・商品のカラーバリエーション ・商品の新ロゴデザイン ・商品の新パッケージデザイン 等から、開発テーマを議論し決定 【2 コンセプト検討】  商品特長、ターゲット層、競合、販売ルート等を議論 【3 新デザイン提案】  デザインスケッチを元にデザイナーから提案 【4 商品化】  レインブーツ、グローブ等			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和2年度	7 533 千円

奈良県	機関名	奈良県産業振興総合センター		
	部署名	創業・経営支援部商業・サービス産業課		
	電話連絡先	0742-31-9084		
事業名	奈良ブランド開発支援事業			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
○事業内容				
奈良ブランド開発支援事業は、従来型の地域ブランドとは異なり、モノ単体の開発ではなく、生活者からの信頼を得てファンを作っていく企業の取組自体を支援する事業です。 地域を越えて多様な業種が参加し、短期的成果よりも顧客と真摯に向き合おうとする社会性の高い参加者間のネットワークを構築。これを通して個々の事業者のブラッシュアップを図り、自分達の個性を見出した事業者は、松屋銀座、リビングデザインセンターOZONE、阪急百貨店、等において、個々の世界観を披露する機会を獲得し、顧客とつながる距離をショートカットしています。 それらによって個々の企業のブランド化を図ろうとする取組です。「ヒット商品を目指すのではなく、作り手と使い手の双方が愛着を感じるロングセラーを目指すモノづくり」というテーマを各企業が共有し、切磋琢磨しながら、自社ブランド構築に繋がる取組を実施しています。本事業は、グッドデザイン賞を 2012 年、2013 年、2014 年、2018 年と4回受賞。				
＜プラットフォーム型活性化モデル＞				
① ブラッシュアップミーティング =多様な地域、多様な業種の参加による切磋琢磨				
				
②TEIBAN 奈良の動詞のデザイン展 作り手が、会場でお客様の声を伺い、そこから得られた評価から課題を生み出し、進化に繋げる。				
				
③N-A-R-A T-E-I-B-A-N (松屋銀座内) 平成 30 年4月に松屋銀座に常設出店。				
				
＜参考 URL＞ https://www.pref.nara.jp/43989.htm				
令和5年度実施予定		開始年度	予算額	
令和5年度も継続して実施		平成 21年度	3 082 千円	

奈良県	機関名	奈良市
	部署名	観光経済部産業政策課
	電話連絡先	0742-34-4741
事業名	令和4年度 奈良市中小企業伴走型支援事業「奈良市デザイン経営フロントランナー企業育成プログラム」	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

【事業内容】

本事業はデザイン経営での中小企業支援を行う専門家が、企業経営者に伴走して助言・直接支援を実施することで、企業自身が顧客に高い価値を提供するための新たな戦略の策定を促すものである。さらに企業単体の業績を向上させるだけでなく、本事業をきっかけに高付加価値企業となるフロントランナーを生み出し、その取組を積極的にPRすることで、高付加価値企業を生み出す好循環を創出し、市内経済の活性化を図ることを目的とする。

【支援内容】

- ・伴走型支援によるコンサルティング
- ・経営計画書・事業計画書作成支援
- ・本プログラムの成果発表会への参加

【成果発表会について】

【1】イベント名/日時・場所

宝塚市×奈良市 2022 年度デザイン経営成果発表会「地域から生まれる革新経営(イノベーション)」

日時:2023 年 3 月 9 日 11:00-13:00/場所:大阪市中央公会堂 | 当日 YouTube LIVE 配信

※一般参加はオンライン視聴のみ可能

【2】プログラム

11:00 開会/11:10 株式会社ガーデンプロ関西(奈良市)/11:30 合同会社パサージュ(奈良市)/11:50 倉本酒造株式会社(奈良市)/12:10 有限会社太陽商会(宝塚市)/12:30 株式会社三佐和(宝塚市)/13:00 閉会

【3】主催 | 奈良市、宝塚市/運営事務局 | 2022 年度 デザイン経営成果発表会運営事務局(株式会社 SASI 内)

※本事業は株式会社 SASI への委託事業です。

【参考 URL】<https://www.city.nara.lg.jp/site/jigyosyashien/157932.html>



令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	令和4年度	3 000 千円

和歌山県	機関名	和歌山県
	部署名	商工観光労働部 企業政策局 企業振興課
	電話連絡先	073-441-2760
事業名	デザイン経営価値共創支援事業「VALUE-WAKAYAMA Design Management」	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■概要

デザイン経営の手法を用いた中小企業の価値創出プロジェクトです。
本プロジェクトは、この土地で長い間育み、守ってきた技術や思いを持つ事業者と、多様な経験を持つ外部人材が仲間となって挑戦する価値創出プロジェクトです。

■事業内容

(1) 学び(シンポジウム・セミナー)

シンポジウム

日時 2022年7月1日(金)

基調講演「すべてはビジョンからはじまる」株式会社中川政七商店 代表取締役会長 中川 政七 氏

参加者(会場/オンライン) 約 380 名

セミナー(全3回)

デザイン経営の手法を学び、自社の事業やブランド、商品に取り入れるためのノウハウを習得するためのセミナー

参加者(オンライン) 97 名

(2) マッチング

事業者がプレゼンテーション実施し、デザイナー/ビジネスパーソンとマッチング

参加者 28 名

(3) ワークショップ(全6回)

事業者/デザイナー/ビジネスパーソンが一つのチームとなり、デザイン経営の手法を活用したビジョン策定・新規事業開発

参加事業者 5 社

(4) ハンズオン(全3回)

ワークショップで策定した計画をアドバイザーによる 1on1 などでもブラッシュアップ

参加事業者 5 社(ワークショップから継続)



VALUE
WAKAYAMA Design Management



<参考 URL>

<https://wakayamavalue.com/>

※内容は令和5年度実施分

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和4年度	17 580 千円

近畿経済産業局	機関名	近畿経済産業局		
	部署名	地域経済部 産業技術課 知的財産室		
	電話連絡先	06-6966-6016		
事業名	デザイン経営を用いた共創による知財活用推進事業			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
■事業概要 福井県の中小企業 2 社に対し、デザイン経営の手法を活用し、外部パートナーとの共創による新製品開発に向けた支援を実施。具体的には、ワークを通じた共創事業のアイデア検討からプロトタイプ作成・ユーザーテスト・フィードバックなどを支援。 また、共創における知的財産の活用について専門家も交えて検討を行い、プロトタイプを外部者に見せる際や共創パートナーとのアイデア検討時の留意点などを支援。 デザイン経営の実践過程や取り組み方を支援対象企業以外の経営者や支援機関等へ情報発信するため、デザイン経営のナレッジの共有や成果発表会を実施。				
■成果物 事業紹介記事 第 1 回 「組織の創造性を高めるプロトタイピング習慣」 https://www.kansai-meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/dcrafft-2022fy_1.pdf 第 2 回 「境界線を越えていく中小企業の社内デザイナー」 https://www.kansai-meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/dcrafft-2022fy_2.pdf 第 3 回 「イノベーションのためのデザイン経営」 https://www.kansai-meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/dcrafft-2022fy_3.pdf 「Draft プロジェクトレポート」 https://www.kansai-meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/2022_Dcraft_book.pdf				
■成果報告会 2023 年 3 月 16 日(ハイブリッド開催) 会場:鯖江商工会議所(SCC)				
(参考 URL) https://www.kansai-meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/design_LW_2022fy.html				
令和5年度実施予定		開始年度	予算額	
令和4年度で事業終了		令和4年度	—	

近畿経済産業局	機関名	近畿経済産業局		
	部署名	地域経済部 産業技術課 知的財産室		
	電話連絡先	06-6966-6016		
事業名	令和4年度 関西デザイン経営推進事業			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
■事業概要 デザイン経営にこれから取り組みたい中小企業6社に対し、アイデンティティを軸としたデザイン経営の手法について伴走支援を実施。また、支援対象企業に自社の知財とステークホルダーとの関係性のデザインについてのワークショップを実施。支援対象企業が取り組んだデザイン経営の内容、支援前と後での変化等についての記事の公表や成果報告会を実施し、デザイン経営実践の効果を共有。				
■事業紹介記事 第1回 「アイデンティティの抽出」 https://www.kansai-meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/shoukaiki2022fy_1.pdf 第2回 「アイデアの創出」 https://www.kansai-meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/pic/shoukaiki2022fy_2.pdf 第3回 「アイデアの表現」 https://www.kansai-meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/pic/shoukaiki2022fy_3.pdf				
■成果報告会 2023年3月9日(ハイブリッド開催) 会場:大阪市中央公会堂				
(参考 URL) http://www.kansai-meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/design_2022fy.html				
令和5年度実施予定		開始年度	予算額	
継続して実施予定		令和4年度	—	